

依頼日付：2012年 05月 09日
作成日付：2012年 05月 10日

依頼ID/レポートID	0000002147-1
患者ID	92715
患者の年齢/性別	77歳 男性
読影医	読影 太郎

【依頼画像】

デンタル・パノラマ(0)枚 CT, MRI(240)枚 口腔内写真(オプショ)(0)枚

【画像所見】

医科病院に依頼して撮影された全身用CT画像ですが、主訴の下顎骨は明瞭に描出されています。下顎右側臼歯部の歯肉腫脹と疼痛が続いており、7 \uparrow のエンドを試みましたが、症状は6 \uparrow ~5 \uparrow にあり軽快しないとの事ですね。
下顎右側小臼歯部から大臼歯部にかけて骨体部に骨吸収像を認めます。近遠心的にはオトガイ孔付近から第二大臼歯部まで、上下的には下顎管に達する部位も見られます。辺縁は全体的には不整ですが一部には整な部分も見られます(参考画像1)。オトガイ孔付近では病変は頬側皮質骨から外側に進展し、同部の軟組織に左右差が見られます(参考画像2)。また、前歯部から小臼歯部にかけては歯槽部頬側に辺縁不整な骨吸収像がみられます(参考画像3)。

【疑われる疾患】

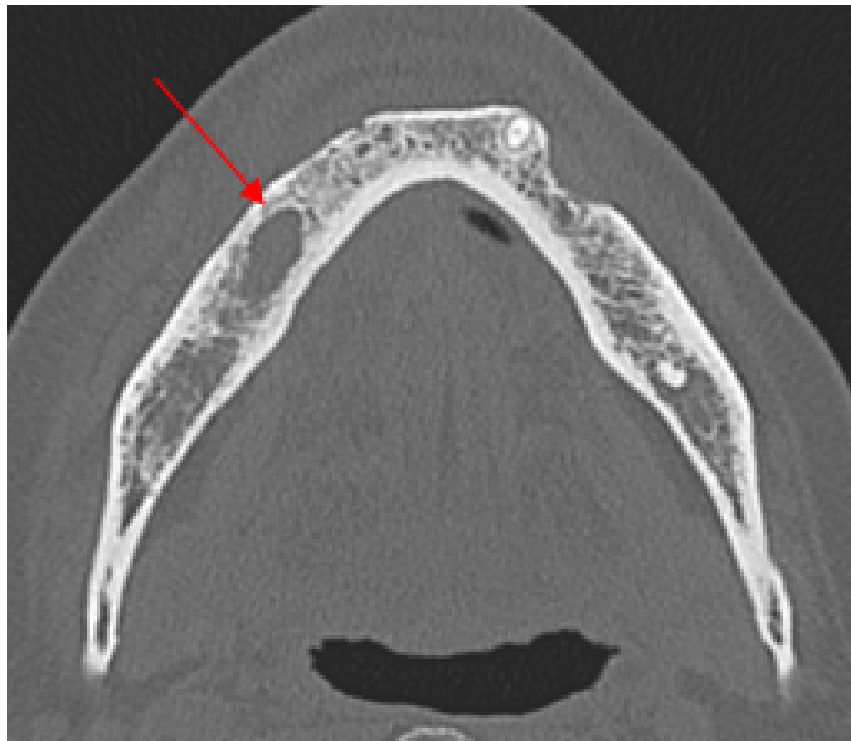
病巣周囲に骨硬化が認められる事もあり、残留嚢胞などの嚢胞性病変への感染が最も疑われます。骨髓炎の移行も疑われますが、他部位からの悪性腫瘍の転移も完全には否定できません。

【備考】

下口唇のしびれがあれば悪性腫瘍や骨髓炎が疑われます。感染としても抗菌薬の全身的投与が必要かもしれません。

【参考画像】

【 画像 1 】



【 画像 2 】



【参考画像】

【 画像 3 】

